

## 2023年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月10日

上場会社名 株式会社 TRUCK - ONE

上場取引所 福

コード番号 3047 URL <https://www.truck-one.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 雄也

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 真崎 高利

TEL 0833-44-1100

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日

2023年9月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	3,285	2.4	108	52.6	118	52.6	78	87.4
2022年12月期第2四半期	3,366	19.3	71	72.4	77	68.9	42	48.2

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 81百万円 (75.6%) 2022年12月期第2四半期 46百万円 (55.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	32.83	
2022年12月期第2四半期	17.52	

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期第2四半期	5,750	926	16.1	386.17
2022年12月期	5,600	854	15.3	356.32

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 926百万円 2022年12月期 854百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年12月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期		2.50		4.00	6.50
2023年12月期(予想)				2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,400	9.8	165	2.2	180	1.4	110	1.2	45.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期2Q	2,552,000 株	2022年12月期	2,552,000 株
期末自己株式数	2023年12月期2Q	153,100 株	2022年12月期	153,100 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期2Q	2,398,900 株	2022年12月期2Q	2,398,900 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したことにより、各種行動制限が緩和され、経済活動の正常化が進み、個人消費を中心に緩やかな持ち直しが続いています。しかし、コロナ禍からの持ち直しを受けて、対面型サービス業を中心に、人手不足を背景とした供給制約の発生や、世界的な金融引き締め政策等による海外景気の下振れ、ウクライナ情勢の長期化など、先行きは依然として楽観できない状況です。

このような状況の下、当社グループの主力事業である商用車関連事業は、当社が国内販売、子会社であるSUN AUTO株式会社が輸出販売を軸に行っており、国内販売の売上高におきましては、半導体不足の回復に伴う国内販売の落ち着きにより前年を下回る結果となり、輸出販売の売上高につきましては、輸出販売が回復基調にあり前年を上回る結果となりました。損益面におきましては、新車登録3年以内の高年式の中古車両を中心に国内での販売が堅調に推移したことや、効率の良い仕入が行えたことにより、前年を上回る結果となりました。運送関連事業につきましては、子会社である株式会社T.L.Gと丸進運油株式会社が行っており、売上高につきましては、人手不足に伴う輸送量の減少により前年を下回ったものの、採算性の向上等に取り組んだことにより、損益面につきましては前年を上回る結果となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績としては、売上高3,285,290千円（前年同期比2.4%減）、営業利益108,952千円（前年同期比52.6%増）、経常利益118,861千円（前年同期比52.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益78,763千円（前年同期比87.4%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりです。

#### ① 商用車関連事業

半導体不足の回復に伴う国内販売の落ち着きにより、国内販売の売上高は前年を下回る結果となり、輸出販売の売上高につきましては、輸出販売が回復基調にあり前年を上回る結果となりました。損益面におきましては、新車登録3年以内の高年式の中古車両を中心に国内での販売が堅調に推移したことや、効率の良い仕入が行えたことにより、商用車関連事業の売上高は2,890,739千円（前年同期比2.3%減）、セグメント利益は94,160千円（前年同期比45.5%増）となりました。

#### ② 運送関連事業

人手不足に伴い輸送量が減少したものの、採算性の向上等に取り組んだことにより、運送関連事業の売上高は394,550千円（前年同期比3.2%減）、セグメント利益は13,483千円（前年同期比93.4%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の分析

##### (資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は5,750,267千円となり、前連結会計年度末に比べ149,519千円の増加となりました。このうち流動資産は208,678千円増加して3,674,135千円となりました。主な要因は商品及び製品が224,615千円増加したことによるものです。また、固定資産は59,159千円減少して2,076,131千円となりました。主な要因は有形固定資産が69,638千円減少し、投資その他の資産が12,055千円増加したことによるものです。

##### (負債の状況)

負債合計は4,823,874千円となり、前連結会計年度末に比べ77,909千円の増加となりました。このうち流動負債は172,613千円増加して3,841,957千円となりました。主な要因は短期借入金が150,000千円、支払手形及び買掛金が126,306千円増加し、未払金が107,266千円減少したことによるものです。また、固定負債は94,703千円減少して981,916千円となりました。主な要因は長期借入金が73,654千円、リース債務が21,347千円減少したことによるものです。

##### (純資産の状況)

純資産合計は926,393千円となり、前連結会計年度末に比べ71,609千円の増加となりました。主な要因は利益剰余金が69,167千円増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ82千円減少し、513,677千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は121,514千円(前年同期は287,565千円の資金減少)となりました。主な要因は、減価償却費146,974千円の計上、仕入債務129,221千円の増加による資金の増加及び棚卸資産284,814千円の増加による資金の減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は144,777千円(前年同期は159,925千円の資金減少)となりました。主な要因は、固定資産の取得による支出143,590千円の資金の減少であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により増加した資金は23,180千円(前年同期は209,270千円の資金増加)となりました。主な要因は、短期借入金120,000千円の純増加と、長期借入金の返済による支出60,254千円の資金の減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の通期連結業績予想に関しましては、最近の動向等を踏まえ、2023年2月14日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表致しました「2023年12月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値の差異並びに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	533,785	533,703
受取手形、売掛金及び契約資産	330,089	360,406
商品及び製品	2,476,969	2,701,585
原材料及び貯蔵品	20,168	39,566
その他	106,269	41,150
貸倒引当金	△1,826	△2,276
流動資産合計	3,465,457	3,674,135
固定資産		
有形固定資産		
賃貸用資産(純額)	388,364	385,552
土地	969,742	969,742
その他(純額)	618,253	551,427
有形固定資産合計	1,976,359	1,906,721
無形固定資産		
のれん	42,450	39,711
その他	4,877	6,039
無形固定資産合計	47,328	45,751
投資その他の資産		
投資有価証券	34,484	38,191
敷金及び保証金	23,144	23,144
繰延税金資産	18,275	25,606
その他	35,698	36,715
投資その他の資産合計	111,602	123,658
固定資産合計	2,135,290	2,076,131
資産合計	5,600,748	5,750,267
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,135,252	1,261,558
短期借入金	2,150,000	2,300,000
1年内返済予定の長期借入金	55,960	39,360
リース債務	48,283	42,602
未払金	173,305	66,038
未払法人税等	52,258	48,626
賞与引当金	1,019	25,833
その他	53,264	57,937
流動負債合計	3,669,344	3,841,957
固定負債		
社債	250,000	250,000
長期借入金	646,741	573,087
リース債務	111,995	90,647
繰延税金負債	28,761	28,690
退職給付に係る負債	38,821	39,191
その他	300	300
固定負債合計	1,076,620	981,916
負債合計	4,745,964	4,823,874

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	97,725	97,725
資本剰余金	44,955	44,955
利益剰余金	724,483	793,651
自己株式	△14,481	△14,481
株主資本合計	852,683	921,850
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,100	4,542
その他の包括利益累計額合計	2,100	4,542
純資産合計	854,784	926,393
負債純資産合計	5,600,748	5,750,267

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	3,366,937	3,285,290
売上原価	2,976,108	2,872,657
売上総利益	390,829	412,632
販売費及び一般管理費	319,453	303,680
営業利益	71,375	108,952
営業外収益		
受取利息	21	1
受取配当金	882	802
受取保険金	36	257
保険解約返戻金	360	350
補助金収入	4,085	6,212
その他	7,144	7,293
営業外収益合計	12,530	14,917
営業外費用		
支払利息	5,174	4,936
その他	844	71
営業外費用合計	6,018	5,008
経常利益	77,886	118,861
税金等調整前四半期純利益	77,886	118,861
法人税、住民税及び事業税	43,289	48,766
法人税等調整額	△7,438	△8,667
法人税等合計	35,851	40,098
四半期純利益	42,035	78,763
親会社株主に帰属する四半期純利益	42,035	78,763



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	42,035	78,763
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,209	2,441
その他の包括利益合計	4,209	2,441
四半期包括利益	46,245	81,204
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	46,245	81,204
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	77,886	118,861
減価償却費	124,145	146,974
のれん償却額	2,738	2,738
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△609	450
賞与引当金の増減額 (△は減少)	24,135	24,814
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	350	369
受取利息及び受取配当金	△903	△803
支払利息	5,174	4,936
固定資産除売却損益 (△は益)	480	-
補助金収入	△4,085	△3,979
売上債権の増減額 (△は増加)	68,493	△9,787
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△736,583	△284,814
未収入金の増減額 (△は増加)	16	△1,181
仕入債務の増減額 (△は減少)	279,740	129,221
未払金の増減額 (△は減少)	△13,313	△14,427
未払費用の増減額 (△は減少)	△1,526	△2,876
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△52,753	64,216
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△39,227	12,996
その他	△34	△13,706
小計	△265,875	174,002
利息及び配当金の受取額	904	803
利息の支払額	△5,233	△4,873
補助金の受取額	4,085	3,979
法人税等の支払額	△21,446	△52,398
営業活動によるキャッシュ・フロー	△287,565	121,514
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△0	△0
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
固定資産の取得による支出	△158,589	△143,590
貸付けによる支出	△351	△175
貸付金の回収による収入	349	328
その他の支出	△1,448	△1,338
その他の収入	113	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△159,925	△144,777
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	300,000	120,000
長期借入金の返済による支出	△51,568	△60,254
リース債務の返済による支出	△33,206	△27,028
配当金の支払額	△5,955	△9,537
財務活動によるキャッシュ・フロー	209,270	23,180
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△238,221	△82
現金及び現金同等物の期首残高	550,605	513,759
現金及び現金同等物の四半期末残高	312,384	513,677

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	商用車関連事業	運送関連事業	計		
売上高					
日本	2,656,007	407,769	3,063,777	-	3,063,777
東南アジア	303,160	-	303,160	-	303,160
顧客との契約から生じる収益	2,959,168	407,769	3,366,937	-	3,366,937
外部顧客への売上高	2,959,168	407,769	3,366,937	-	3,366,937
セグメント間の内部売上高 又は振替高	119,903	26,544	146,448	△146,448	-
計	3,079,071	434,314	3,513,385	△146,448	3,366,937
セグメント利益	64,730	6,971	71,702	△327	71,375

(注) 1 セグメント利益の調整額△327千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	商用車関連事業	運送関連事業	計		
売上高					
日本	2,516,449	394,550	2,911,000	-	2,911,000
東南アジア	374,290	-	374,290	-	374,290
顧客との契約から生じる収益	2,890,739	394,550	3,285,290	-	3,285,290
外部顧客への売上高	2,890,739	394,550	3,285,290	-	3,285,290
セグメント間の内部売上高 又は振替高	53,253	18,911	72,164	△72,164	-
計	2,943,992	413,462	3,357,455	△72,164	3,285,290
セグメント利益	94,160	13,483	107,644	1,308	108,952

(注) 1 セグメント利益の調整額1,308千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。